

Hello! Baby・kids

1月生まれ

3月生まれの子どもを募集中

- 対象 町内に住み、3月で1歳～3歳になる子ども
- 申し込み 1月17日(月)までに投稿する写真・住所・親子の氏名(ふりがな)・子の生年月日・電話番号・子どもへのコメント(22文字以内)・広報おかがきへの意見を広報情報課に窓口、郵送またはメール(koho2@town.okagaki.lg.jp)で提出

3歳おめでとう!
これからも元気に育ってね!



たまのちせ
玉野智千ちゃん(3歳)
平成31年1月31日生まれ(原)

食欲♥もっと大きくなあれ!

つまたあおい
月俣碧絃ちゃん(2歳)
令和2年1月24日生まれ(海老津)



いつも笑顔ありがとう♡

きむら はなな
木村花音ちゃん(3歳)
平成31年1月12日生まれ(緑ヶ丘)



短歌・俳句・川柳

一般の作品

川原石三つ重ねてポチの塔

馬場とき子

初雪をラジオで聴く朝かな

外村文人

秋風や歩み早める曲り角

井上アヤノ

傘を杖いそぐ足音師走の空

名瀬サチエ

身に迫る十夜法話の南無の声

山村英之

喜んで良いのだろうかもう傘寿

恵家健生

楽しい基うっていますよ九十四

小田和彦

青嶺岡垣俳句会

冬隣塙土さらすけもの道

十時千恵子

澄みわたる高炉の空の朝の月

平村久恵

母許へ近道小道赤のまま

青竹町子

空も海も太初のをと鳥わたる

岸原邦代

岡垣短歌教室(植村隆雄 選)

病得であれこれ思うこれからは

神屋真弓

一に健康二に健康だ

成田山のフジバカマに来て

羽広げアサギマダラは吸蜜中なり

白武真理子

シヨベルカーに乗りたる人は九十歳

藤原一子

蘇るシチメンソウの紅葉の

今が見頃の有明海岸

黒瀬里美

言葉短歌会

金色の大手を広げて金木犀

南里和昭

助け合い励まし合いて生きて来し

五十九年夫に感謝す

散り敷ける桜の枯葉はさきと

早川京子

踏み夕べの道急ぎたり

石松清美

サンリーアイ俳句会

落選のポスター笑顔秋の風

広渡務

秋深む笛吹鯛の尖り口

深田英子

湖の汀に群るる秋茜

力丸ツヤ子

一刷毛の雲のかがやき雁渡る

井村晴代

岡垣川柳会

数珠球に秋の足音する斑

的場しずえ

ガタガタと老いの足音よく喋る

坂本堂

足音に感じたけれど風の音

依澄子

温暖化四季の足音遮断する

廣渡憲峰



募集 町民ふれあい広場では、お知らせ、サークルなどの紹介、イラスト・写真、俳句などを募集します。※営利・政治・宗教に関するものなど、掲載できないものもあります

申し込み 掲載号の前々月15日(3月号は1月17日(月))までに住所・氏名・電話番号・原稿などを広報情報課に窓口、郵送またはメール(koho2@town.okagaki.lg.jp)で提出※応募多数のときは抽選

※新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントなどが中止または延期になることがあります。各イベントが開催されるかどうか分からないときは、担当課または主催者に問い合わせてください。

町の輝いている人や元気な人を紹介します

4つの手が織りなす旋律

Q ピアノを始めたきっかけは？

A 尾林さん 2歳のころから、町内の音楽教室に通い始めたことがきっかけです。最初は主に「リトミック」というリズム遊びをしていて、ピアノを弾き始めたのは3歳からでした。

高津さん 両親が楽器を演奏していたことがきっかけで、4歳のころにピアノを習い始めました。小学生になってからはソロだけでなく、尾林さんと一緒にデュオにも挑戦し、大会に出場しています。

Q ピアノデュオの難しさは？

A 尾林さん 演奏のタイミングを合わせることが難しさの一つです。デュオでは、高津さんと息をピッタリ合わせて演奏する必要があります。曲の「入り」などは特に意識しています。

高津さん デュオは2人で演奏しますが、「まるで1人で弾いている」かのように聴こえる演奏をしなければなりません。最近はお互いがそれぞれの演奏に慣れてきたこともあり、タイミングが合いやすくなってきたと思います。

Q 今後の目標は？

A 尾林さん 将来の夢はピアニストではありませんが、ピアノが自分に一番合った趣味だと思っています。これからも色々な音楽に触れながら、ピアノのきれいな音色を楽しみたいです。

高津さん まずは、来年2月の大会で金賞を獲ることです。私もプロのピアニストは目指していませんが、指導してくださっている先生のように情熱を持って、ピアノを生涯続けていきます。

おばやしつばさ たかつりのあ
尾林翼さん(左)・高津梨音愛さん(右)

双方ともに町内在住、12歳のピアノ奏者。幼少期から全国のピアノコンクールに出場を続け、今年7月の大会ではデュオ部門で全国3位・ショパン賞を受賞したほか、ソロ部門でも全国4位相当の好成績を修めている。

岡垣町に学ぶ (岡垣スタイルからの投稿)

地域共創のために地域の人から学ぶ

11月16日～17日に広島県の広島商業高等学校の2年生が修学旅行で町を訪れました。

今回の修学旅行のコンセプトは「これからの経済(商業)のあり方を考え、実践者(ローカルモデル)とのビジョンやあり方を探求する」こと。地域資源を活用し、地域共創を行っている岡垣スタイルを案内人に、町の「観光・味覚・人・課題」について学びました。



観て・考えて・味わって

初日は、生徒80名と先生、町職員や地域関係者などが



参加し、「SDGsカードゲーム」でまちづくりを体験。ゲームでは地方創生に取り組む日本の自治体の具体的なアクションがカードの題材となっていて、さまざまな課題を解決するために、高校生は柔軟な思考でアイデアを出していました。

2日目はサイクリング、ヨガ、サーフィンなどのアクティビティやはつしろやぶどうの樹、Café M&Mなどで町の味覚を楽しみました。



忘れられない修学旅行

生徒たちは、地域の魅力を発信する町の人たちとのふれあいを通じて、多様な生き方があることを知り、人生の選択肢を広げる「冒険」を満喫していました。